

令和4年度第2回養父市立図書館協議会 会議録

開催日時 令和5年2月24日(金) 午前10時～午前12時
開催場所 養父公民館 児童室
出席者 委員9名、事務局3名

1 開会

2 あいさつ 守本会長

3 報告事項

(1) 令和4年度事業経過報告並びに図書館利用状況について

(2) 今後の予定について

4 協議事項(委員より)

(委員) システムを入れ替えたらどこがどう変わるか教えてほしい。

(事務局) 予約ボックスが改善される。他の改善については未定だが、富士通に要望は伝えている。

(委員) 市外の利用者は何人とか分かるか。

(事務局) 統計の上で、5年後にならないときちっと数えられない。

(委員) 大型絵本と小さい普通の版の絵本を並べて見るようなコーナーがあったらいい。

大型絵本は、読み聞かせでないと貸し出してもらえないので、見る機会になったらいい。

(委員) 原作者の講演会があれば楽しいし、行きたい。

(事務局) 予算的に見合う方で、絵本作家の方に講演していただければと思っている。

(委員) 山田風太郎賞の過去の受賞者を呼んだらどうか。風太郎賞の受賞者と養父市との縁をもう少し密接にしたらいいかと思う。

(委員) 本館の月テーマを決めるのはすごくいい企画なので続けてほしい。ボランティアでボードを作るが、ワンコインでもバス代ぐらいの報酬が出たらいいと思う。ブックスタートももう少し多くの人に頼めないか。図書館の中の先人のコーナーが埋もれている気がする。寄贈本をとにかく早く表に出してほしい。

(委員) ふるさと納税の返礼品として養父市立図書館の図書館貸出カード1年間にグンゼ棟の喫茶店のコーヒー券2枚ぐらいをつけたらどうか。定期的に空き家の世話や親の面倒を見に養父に帰って来る人、養父に縁もゆかりもないが阪神間からテニスをしに日帰りである人などある。寄附の所で、マッチングギフトとかマッチング寄附みたいにする。令和6年度以降の予算の基金に配慮することを考えたらいいような気がする。

(委員) 教育現場と図書館の連携は、サポート学級とだったらできるのでは。自分が子供の頃に大事だった絵本みたいなものを発信してもらえると、本人もすごく自信になる。

(委員) 大きくてキレイな本館ができて、今まで頑張っていた各地区の図書館が、統計を見てもだんだん減っている。

- (事務局) 今様子見をされている時期で、まだ本館一極集中が決まったとは思っていない。
本館ができたことによる影響はやや残るが、もう少しすると戻っていくと思う。4館あるということは絶対大事なことで、4館とも大事にして、差がないようにやっていきたい。
- (委員) 例えば学校教育の中で、図書館見学みたいなツアーがあっても楽しい。高齢者の読み聞かせもとてもいいと思う。
- (事務局) 今年度、紙芝居をたくさん購入した。八鹿では、高齢者の方が多く来られる。車いすの方もよく来られるようになった。
- (委員) 子どもだけでなく、もっと高齢者を取り込むために、大人用の紙芝居とか読み聞かせとかがあったらいい。健康課や介護保険課等横のつながりなどをもっと増やしてほしい。豊岡芸術文化観光専門職大学の学生とか高校生にアイデアを聞いたらどうか。
- (事務局) 他市の図書館でも常連しか来ないのが悩みらしい。養父市のメリットは、全館複合施設で、様々なイベントで普段本を読まない方が訪れる機会が多いこと。YBファブの強みを生かしたい。
- (委員) 図書館めぐりも大人向けと、夏休みに子供向けの図書館めぐりとかしたら面白いと思う。英語の本が少しずつ増えているのですごくうれしい。
- (委員) 大型絵本が増えているのがうれしい。子どもの図書館めぐりの話はとてもいい。英語の絵本も増えてきてとてもいい。集客率が上がるイベントをしているときに図書館に引き込むのはとてもいいと思う。
- (委員) 私の周りには、図書館が有料だと勘違いしている人や養父市内の人しか借りられないと思込んでいる人がいる。そういう人に向けてもっとPRをしたらどうか。
- (委員) マイナンバーでどう変わるのか、具体的なことを広報してほしい。あとは実際のQ&Aの図書館バージョンを作って出してほしい。マイナンバーカードで但馬での連携はどうなっていくのかを教えてください。
- (事務局) 朝来市が去年の10月から、養父市は4月から、新温泉町も予算を付けて秋ぐらいには稼働したいということのようで、3市町はマイナンバーカードと図書カードの一体化を進めている。豊岡市はまだそこまでいかない。
- (委員) 貸出冊数が15冊に増える期間がもうちょっと増えてほしい。子どもの本でも、LGBTとかSDG'sとか大人が読んでも勉強になる本があるというPRをしたらいい。絵本作家を呼ぶという話は、子どもにも投票してもらったらどうか。豊岡のだいかい文庫みたいに、図書館だけでなく民間の取組もあったらいい。
- (委員) 貸出返却場所を郵便局等でもできるようにという提案はどういう感じか。
- (事務局) まずは他の図書館ですでに実績がある障がい者のための遠隔貸出サービスを検討して、その後で、一般の方に応用できるかどうか検討する。
- (委員) マイナンバーカードを使えば豊岡市の図書館の本を養父市内の図書館で取り寄せて家の近くの本館分館で借りられるというのはできそうか。
- (事務局) 自治体ごとに図書システムを運用しているので、養父の方が豊岡市の図書館にオ

ーダーされたとしたら、豊岡市の最寄りの図書館を指定することしかできない。

(委員) 寄贈本を受けるのか、それをどう貸出可能にしていくのか。見通しは。

(事務局) 今のシステムは10万冊が限界。まだ余裕はあるが、そこまでいくと、今度は選択で廃棄するかどうかという話になってくるかと思う。

(委員) 本館分館から遠い人の貸出に宅配便を利用するという話はどうか。

(事務局) 宅配便になると、その費用を負担してもらうことになる。

(委員) 電子書籍の導入についてはどうか。

(館長) 豊岡市が来年度から導入されるらしい。豊岡市の様子を見ながらだが、今のところそこまで市は考えていない。

(委員) 学生のイベントやいろんな世代への読み聞かせ、あとは今ある資料を活用して読む会みたいなものが増えるといいと思う。

(委員) 寄贈本の問題だが、個人で手伝いできるようなことはあるか。

(事務局) 職員がやらなければならないことなので、お願いするのが心苦しい。

(委員) 内容が難しいとか？ 個人情報の問題？

(事務局) 本館は、閉架書庫の作業スペースが狭い。司書が2名入ってしまうと図書館はストップしてしまうので、1名で作業しているが、1名なので全然進まない。

(委員) 今度1名新しい方が入ったら少しは進むのか？

(事務局) 司書が1名付くだけでは足りないと思う。

(委員) 閉架の本を広い場所に移して分類のお手伝いをするとか、司書の有資格者が分類のアドバイスをして私たちが動くというようなことなどできたらいいと思う。

(事務局) ボランティアに甘えてはいけない。もう少し業務の効率化が図れたらいいと思う。

(委員) ずっとボランティアに頼ってはいけないとは思いますが、意識的にボランティアが使えるところには使ってもらったらいい。私たちもやりたい気持ちはある。

(委員) 予算を取って来てアルバイトを雇う方法もある。

(委員) ケーブルテレビを活用したらいい。図書館からのお知らせや新刊案内など。

(委員) 司書がたった一人入ってくるだけであたかも解決するかの様なイメージで聴くと、そんなことじゃない。具体的に1からでも進めていかないと埒らない。

(副会長) この協議会も去年の春から3回目。残り1年ぐらいしか任期がないが、引き続きいろんなことを考えて、協議会の場合だけでなく、分館・本館に寄ったときに伝えるということでもいいと思うので、進めていきたいと思う。